

春・秋(4月～10月)に活動

## 土にも種類があった！ピッカピカどろだんご！

～らいおん組、土と泥の研究をしながら進めたピッカピカどろだんごづくり～

春、園庭の砂場でどろだんごを作っている子どもたちの姿がありました。「みてー！どろだんご！」「壊したくないからおもちゃの後ろに隠しておこう！」と作ったどろだんごを隠し、次の日に見に行くと壊れていました…。「壊れてる！！」「なんで？！」「なんで壊れちゃったのかな？」「砂に石が混ざってたからかな？」と、壊れたことがきっかけで土について興味がでてきました。そこから、ピッカピカのどろだんご作りに奔走したららいおん組の活動をみていきます！

### 背景-らいおん組の姿-

昨年度、きりん組の終わりの頃から自由遊びの際にどろだんごを作っている様子がありました。せっかくなつくつったどろだんごだから壊したくない！と砂場のおもちゃの後ろにそっと隠していくのですが、次の日にはだいたい壊れてしまっていました。「えー！なんで壊れてるの？」とショックな子どもたち…。どうしたらいいのかな？と行き詰っていました。



### 春、畑に土を入れよう！

新年度が始まり、畑の土・肥料入れがはじまりました。畑に土を入れていると、「この土ふわふわしてるね！」「たしかに！黒いしね！」と土に興味があるようでした。そこで、「砂場の土とは違うよね！」と声を掛けてみると、「うん、黒いしぎゅってしたらすっごくまとまるから、どろだんごにしたらすごそう」と一人の子どもがボソッと言いました。「え！たしかに！この土でどろだんごしてみる？」と聞くと「え！？いいの！？やりたい！！」と話がまとまりました。

### 黒土を買いに行こう！

黒土は畑用の分しかなかったため、島忠に買いに行くことになりました。島忠に行く前に、どのような土を買わないといけないのか、そもそも土に種類があるの？と話し合いになりました。調べてみると黒土のほかにも赤土や腐葉土など土にも種類があることが分かり、「どれでつくったらいいのかな？」とみんなで相談になりました。そこで、島忠にどんな土があるかわからないし、島忠でみながら良さそうな土を買ったらいいんじゃないかということで話がまとまりました。

どろだんご作りに夢中になっていた数人で、いざ、島忠に出発しました。島忠で土をみながら、みんなで相談した結果、黒土、赤玉土、くん炭、油かすの4種類を買うことになりました。



買ってきた土でどろだんご作ってみた！

さっそく買ってきた土でどろだんごを作ってみました。事前に本も読んで、できるだけサラサラの土、石などの不純物が入っていない土にするために網で土をこしました。サラサラの土になって、水を入れてみると、「すごい！ねばねばしてる！」「みて！全然ちがう！」「もうツルツルだよ！」と今までとは違うどろだんごの様子に驚いていました。「本だと、ここからサラ砂をつけていくんだっけ？」「そう！手の平につけて～優しくこするんだよ！こう！」「こんな感じ？」「そう！いいと思う！」と子どもたち同士で話し合いながら、ピカピカどろだんごに向けて試行錯誤していました。



## 翌日！

土をこして、細かい土だけを集め、そこに水を入れて泥にしたあと、丸くします。丸くなったどろだんごにサラ砂をつけて磨いていきます。そこまでの作業をしたあと、一回どろだんごをお休みさせないといけないと本に書いてあったので、お休みさせて前日が終わっていました。翌日、朝から「ねえ！どうなってるかな？」「割れちゃってたらどうしようね！」「はやく見に行きたいね！」とどろだんごの様子が気になって気になって仕方がない様子でした。さっそく、どろだんごを見に行くと…！壊れることなく、ツヤツヤの状態でそこにありました。「われてないー！！」「ちゃんとツルツルになってるよ！」「われてないね！」「われてないよ！」と大興奮でした。何度も何度もわれてしまっていたどろだんごが二日目も無事だったことが嬉しくて、手を叩いて喜びました。

そして、二日目は、布を使って本格的に磨く作業に入りました。同じ場所ばかり磨いちゃだめだ！と布に対して、どろだんごを回しながら磨いていってました。すると、次第にピカピカになっていき、「え！みて！すごいピカピカしてる！」「ここが一番ピカピカしてるよ！」ととても嬉しそうでした。



## 他の土でもやってみた！

ピカピカのどろだんごを作ることができて楽しくなってきた子どもたち。他の土でもやってみるようになりました。次に試してみたのは、油かす。触ってみると、ベタベタしていました。さらに水をいれてみると、手にくっついて全然丸くなりません。「なにこれ！ベタベタしてる！」「手にめっちゃくっつくよ！」「これ、よく見た

ら土じゃないのもたくさん混ぜてだめかもしれない！」と油かすに大苦戦。その時、「油かすに炭混ぜてみたらどうかな？」と提案がありました。「あ～それいいね！」「やってみよう！」と一人の子どもの提案から、もうだめかと思われた油かすでのどろだんご作りが動き始めました。

油かすにくん炭をまぜて、やってみると丸く形にすることができました。「形になったけど、なんかかって感じだね」と子どもたちがいうので、「そうだね、なんかかって感じだね」と返すと、「うーん、なんかかって感じじゃだめか。」と油かすではどうにもならないかもしれないという空気が流れました。しばらく、丸くしようとなんとか頑張っていたのですが、次の日には壊れてしまいました。壊れた油かすどろだんごをみて、「ああ～やっぱりわれちゃったか～」「でも！だめだったってわかったの面白いね！」と話が盛り上がっていました。失敗やだめなことも伸びしろとして、できないということが分かった！と解釈して、次に繋げていく子どもたちの姿は、とても素敵な姿でした。



## 新しい土が届いた！

試行錯誤していると、園長先生が新しい土を注文してくれました。パイナップル専用の赤土が届くと、「えー！！すごい！」「やりたい！やりたい！」とさっそくパイナップル専用赤土でどろだんご作りがはじまりました。いつも通り、土をこして、水をいれてみると…「粘土みたいになってる！」「ベッタベタだよ！」「なにこの土！」といつもとは違う泥になりました。手にくっついてくっついて、「丸に全然ならない！」「これほんとにどろだんごになるのかな？」と心配しながらもひたすら丸めていくと、次第にいい感じに丸まってきました。「あんなにベタベタだったのに、いい感じになったきた！」「すごいね！」「え！これめっちゃいい土なんじゃない？」と子どもたちも興奮しながら作業がどんどん進んでいきました。



## パイナップル専用の赤土二日目！

ピカピカになってきたどろだんごをお休みさせた、二日目、「よし！磨くぞ！」と意気込んで磨く作業をやっていました。すると、ポロポロとちょっとづつどろだんごにヒビが入り皮が剥けるように崩れてきてしまいました。そして、Yちゃんもっていたどろだんごが落ちると、綺麗に粉々に…！「あー！割れちゃった！」「めちゃくちゃ綺麗に割れたね」「駄目だー！」とパイナップル専用の赤土は乾燥すると上手くいきませんでし

た。赤玉土しか上手にできないのか…！と諦めていたとき、黄色土が保育園にやってきました。



ボロボロになっちゃったー！！

落としたら粉々になっちゃったー！！！！

### 黄色土がやってきた！

保育園にやってきた黄色土(園長先生が頼んでくれていた)をあけてみると、いままで見たことないくらいさらさらの土でした。網でこしたりする必要もないほどサラサラの土に、「なにこれ！」「こんな土あるの？」「はやくどろだんごしたい！」と大興奮な子どもたち。サラサラの黄色土に水をいれて泥にしてみると、簡単に丸になりました。そこからサラ砂をかけて磨いていくと…いままでにないほどピカピカに！「黄色土すごいよ！ピッカピカ！！！」



すごいピッカピカだね！



## どろだんご作りを振り返る

子どもの頃、誰もが一度は作ったことのあるのがどろだんごだと思います。らいおん組の子どもたちもどろだんごに魅了され、何日も何日もどろだんごを作り、すぐに壊れてしまうどろだんごに「なんで!」「どうしたらいいのかな?」と試行錯誤を重ねました。何日経っても壊れないどろだんごが作りたい!という思いから、土の種類を探求し、どろだんごの作り方を探求し、サラ砂や泥の探求まで広がり、最終的には、ピッカピカのどろだんごを作りたい!という思いに繋がっていきました。

子どもたちの探求心が花開く瞬間はどこにあるのだろうか。子どもたちが夢中で遊び込める遊びってなんだろう。と日々子どもたちの興味関心にアンテナを張りながら保育を行っています。それは、探求心が花開き、遊びが展開し、子どもたち自身が考え、思考し、相談して進めていくそんな活動が、子どもたちの今後の人生において確かなものになっていくと考えているからです。

今回の活動では、土・泥・砂・水などの自然物にも突き動かされて、子どもたち同士でも話し合い、遊びが展開していきました。自然との関わりも大切に今後も活動していきたいと思います。